

電子資料解題②

PubMed 1

増田 徹

I. 概要

外国医学文献の検索で、PubMedは誰でも使ってみたことがあるはずである。他の書誌データベースと比較するにつけ、これが無料で開放されていることに驚いてしまう。MEDLINEが無料で開放されたのは1997年、当時ゴア米副大統領が報道フラッシュの中、パソコンに向かい最初にアクセスするパフォーマンスもみせた¹⁾。BMJの論説には、アメリカから世界への最も大きな2つの贈り物はジャズとMEDLINEであると記されている²⁾。PubMedはNational Institutes of Health : NIHの中、米国国立医学図書館(The National Library of Medicine : NLM)の下部組織、The National Center for Biotechnology Information : NCBIと一部の自然科学系出版社が共同で開発した文献検索システムで、国家的なプロジェクトである。今日ではMEDLINEの文献書誌情報とNCBIの分子生物学情報が結びつき、さらに出版社が提供する全文データがインターネット上でリンクしている^{3, 4)}。現在MEDLINEには、世界約70カ国、約4,800誌の医学文献が収録されており、2004年には57万1千件のデータが追加された。PubMedでは1950年以降の1,500万を超える文献を検索することができる。

II. 歴史

その歴史をたどってみると^{1, 4-7)}、1879年のIndex Medicusまでさかのぼる。John Shaw Billingsという医師が博士学位論文の資料収集

のために大変な思いをし、「1万かそれ以上の異った索引を調べそれらをめくって12かそこらのレファレンスを見つけ出すという苦勞をさせないように、包括的な索引を準備しよう」と考えたことに始まる。当時主題から文献にアプローチできる索引が、新しい文献については存在していなかったのである。しかし1891年時点での予約購読部数が482部だったといい、資金難のため廃刊も経験、Index Medicusという名では1927年に刊行がとだえる。そのころには他の索引も出版されており、1940年代にAther-ton Seidellという生化学者が創刊したCurrent List of Medical Literature (CLML)の編集に、Army Medical Libraryと呼ばれていた現在のNLMが編集に関わることになる。それを大幅に改善して1960年に発行された新しい医学書誌が再びIndex Medicusと名付けられるのである。その後1964年医学文献の検索システムMEDLARSが開発され、Index Medicusのコンピュータ編集が開始、1971年MEDLARSのオンライン提供データベースであるMEDLINEが登場する。1990年代後半までは、商業ベースで配布されるCD-ROM版や専用回線の有料MEDLINE検索が使われていた。その中でNLM自身がPubMedという検索システムを提供するのだが、インターフェースや機能に優れていて、その後のMEDLINE検索のスタンダードとなる。MEDLINEは今でも、商業データベース会社などが追加データベースや独自の検索ソフト、電子ジャーナルなど付加価値をつけ、有料でも提供されている。

Ⅲ. PubMed と MEDLINE のちがい

MEDLINE は PubMed に収録されているデータの核となるが、同じではない。PubMed には下記のデータが追加されている⁸⁾。

- OLDMEDLINE (1950～1965) のデータ約 200万件。MeSH や抄録がなく、データも完全でない。
- 索引付けされて MEDLINE に収録されるまで一時的に収録されているレコードや、出版社から直接送られたばかりの書誌データ。これらには MeSH が付与されていない。
- MEDLINE 収録対象誌に掲載された収録対象外文献 (例えばプレートテクトニクスや天体物理学を扱ったもの)。

Ⅳ. EBM

PubMed は EBM にも対応している。EBM との関連については下記の通りである⁹⁾。

- 論文を区別するのに Publication type というフィールドを設け、そこではランダム化比較試験など研究デザインの採用状況も入れられている。
- Cochrane Library の最もコアな部分である Cochrane Database of Systematic Reviews (CDSR) の抄録が収録されている。
- Side Bar の Clinical Queries という検索オプションに Systematic Reviews を付加し、臨床家ができるだけ簡単に役立つ質の高い文献を絞り込めるようにした。
- ACP Journal Club、Evidence-Based Mental Health、Evidence-Based Nursing などエビデンスの高い文献を臨床家向きに要約し紹介している雑誌も検索できるようになった。

検索については、次回大阪大学生命科学図書

館の諏訪敏幸氏に詳しく解説していただく予定です。

参考文献

- 1) 岡部一明：アメリカの医学データベース「メドライン」の無料公開。ず・ほん。1998；5：64-75.
- 2) Smith R, Chalmers I：Britain's gift：a "Medline" of synthesised evidence. BMJ. Dec 2001；323：1437-8.
<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/pubmed/>
- 3) 田部井香織：PubMed の利用と情報サービスへの意義。医学図書館。1999；46 (1)：22-7.
- 4) 青木仕：Index Medicus, MEDLINE, MeSH の変遷とその歴史。医学図書館。1999；46 (3)：287-95.
- 5) 山口直比古：Index Medicus の誕生。医学図書館。1981；28 (1)：1-10.
- 6) 山口直比古：忘れられた Index Medicus—MEDLARS への道。医学図書館。1989；36 (2)：54-62.
- 7) 小田中徹也：PubMed の登場と文献検索。EBM ジャーナル。2004；5 (2)：86-9.
- 8) NLM Fact Sheet: What's the Difference Between MEDLINE* and PubMed*?. [accessed 2005-03-28]
http://www.nlm.nih.gov/pubs/fact-sheets/dif_med_pub.html
- 9) 山崎茂明：一次情報の検索—「PubMed」からみた看護文献の世界とエビデンス検索法。福井次矢編集。看護のための最新医学講座36 EBN と臨床研究。東京：中山書店；2003。p.32-47